

モンゴルと日本の文化の違い

エンフトル・ハサル

文化は生活する環境によ、て長い歴史の中で人間が作り上げてきたものです。国の文化の違いを比べればきりがありません。しかし、文化というものは、その国に住む人間そのものによ、て表わされていると私は考えます。

昔からモンゴルの国民は温度が-40度から+30度まで変動する、き、くせんな天候の中で生活してきました。そして広い草原に五種類の家畜を飼、て遊牧生活をしてきました。地形によ、て家族の毎日の生活は他の人々と無関係で、広い草原で分かれて独立生活をしてきました。どこへ移動するか、危険が発生すればどうするかなどすべての決定を自分で決めてきました。一方、遊牧生活の困難をし、かり知、ているので人々はいつもお互いに助け合、てきました。例えば、遠い距離を移動する旅行者が途中で出会、て家族を訪ねれば、いつもおいしい料理を食べたり、旅行のため

の食べ物準備してもち、たりなど色々な世話をししてもちうことが出来ます。家を留守にする時には、旅行者のため食べ物準備して残しておきます。その文化は昔から現代まで続いてきたので今でも遊牧民の家を訪ねる時、だれでもおいしい料理を食べさせてもらったり、色々なプレゼントをもちえたりします。それから今まで保たれてきたモンゴル文化の代表といえば、思いやり、独立精神と先を見る力だと考えます。私自身もモンゴル文化の小さい代表だと思っています。子供の頃から馬に乗って草原を走り、冬に天然水で入浴したりしていました。さらに、父と一緒に狩りをしたこともあります。このようにモンゴル人の生活方法は適応性がある、冒険好きな人間を作ります。といいます。

一方で、昔から日本の国民は山の多い島国に住んでいました。そのように古くから町や村などに定住し、集団で農業をしてきました。その生活する方法は日本人に責任感や協力、

礼儀など色々な良い精神を育てたと思っています。
日本人は古くから大きな社会の中で生活して
きましたし、とても勤勉だ。だからこそ、現
代の質の高い社会を作ったと考えます。私の
中学の日本語の先生は私が初めて出会った日
本人です。その先生は日本について色々な面
白いことを教えてくれました。彼女のやさしさ
、責任感と協力などの点は私に日本人に対す
る第一印象を残しました。
お互いから学ぶ時、物事が発展します。モ
ンゴル国が都市文明に転換してから約100年が
たちました。長い歴史がある日本の都市文明
の経験から学ぶ意義はひじょうに大きいです。
モンゴル人の適応性、先を見る力および日本
人の責任感、協力を結集すれば質の高い人間
になることができると見ます。私は祖国へ戻
って自分が得た経験と多面的な視点をできる
だけ社会に伝えようと思っています。